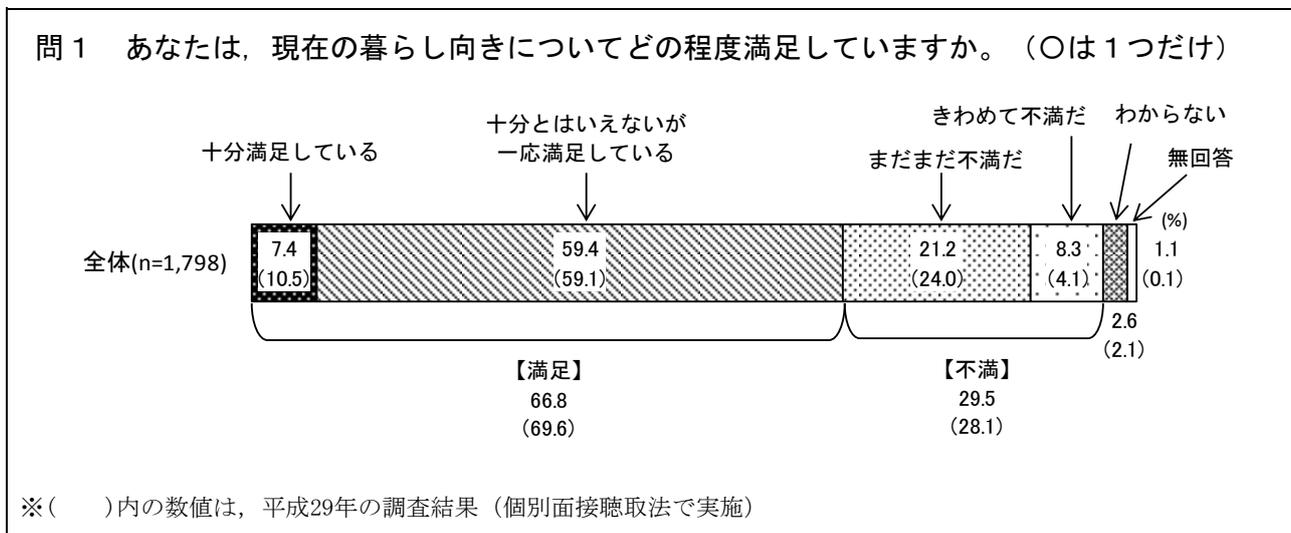


I 生活意識

1. 暮らし向き満足度

－【満足】が6割台半ば－

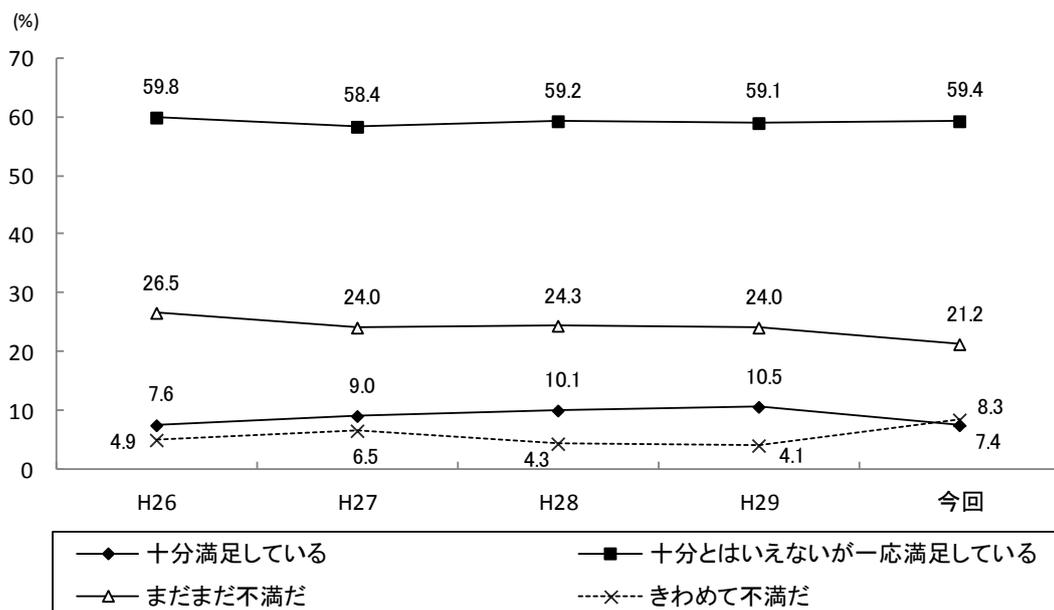


暮らし向きの満足度としては、「十分満足している」(7.4%)と「十分とはいえないが一応満足している」(59.4%)を合わせた【満足】(66.8%)が6割台半ばとなっている。一方、「まだまだ不満だ」(21.2%)と「きわめて不満だ」(8.3%)を合わせた【不満】(29.5%)は約3割となっている。

－「きわめて不満だ」が約4ポイント増加－

前回調査(平成29年)と比べると、「きわめて不満だ」が約4ポイント増加している。

図I 1-1 暮らし向きの満足度(時系列)



－県北で【不満】が3割台半ば－

地域別でみると，【不満】は，県北（34.2％）で3割台半ばと最も高くなっている。

－女性の65～69歳で【満足】が約8割－

性・年齢別でみると，【満足】は，女性の65～69歳（77.1％）で約8割と最も高くなっている。

－男性の60～64歳で【不満】が4割台半ば－

性・年齢別でみると，【不満】は，男性の60～64歳（43.2％）で4割台半ばと最も高くなっている。

－管理職で【満足】が7割台半ば－

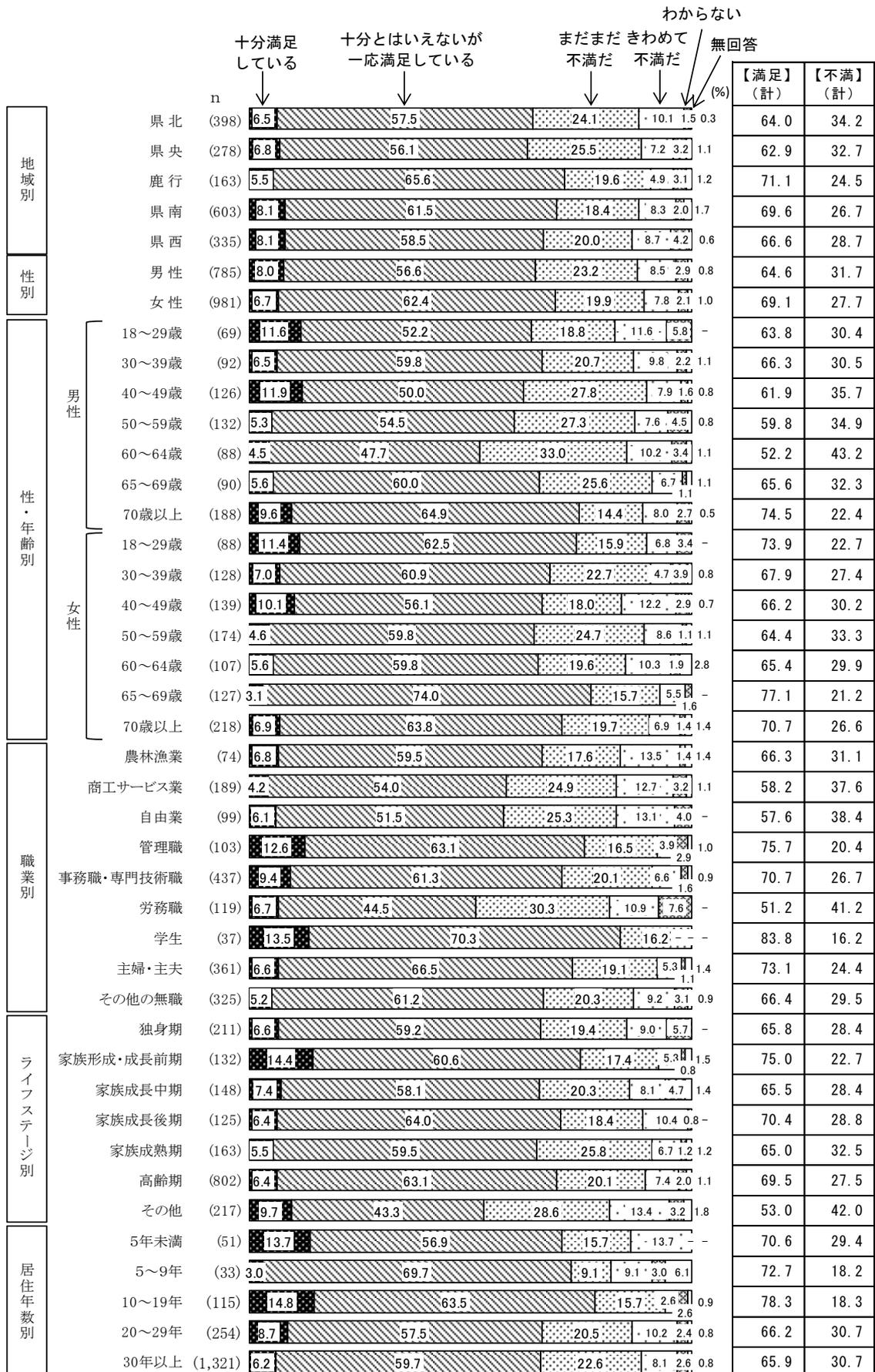
職業別でみると，【満足】は，管理職（75.7％）で7割台半ばと高くなっている。

－労務職で【不満】が4割超－

職業別でみると，【不満】は，労務職（41.2％）で4割を超えて最も高くなっている。

図 I 1-2 暮らし向きの満足度

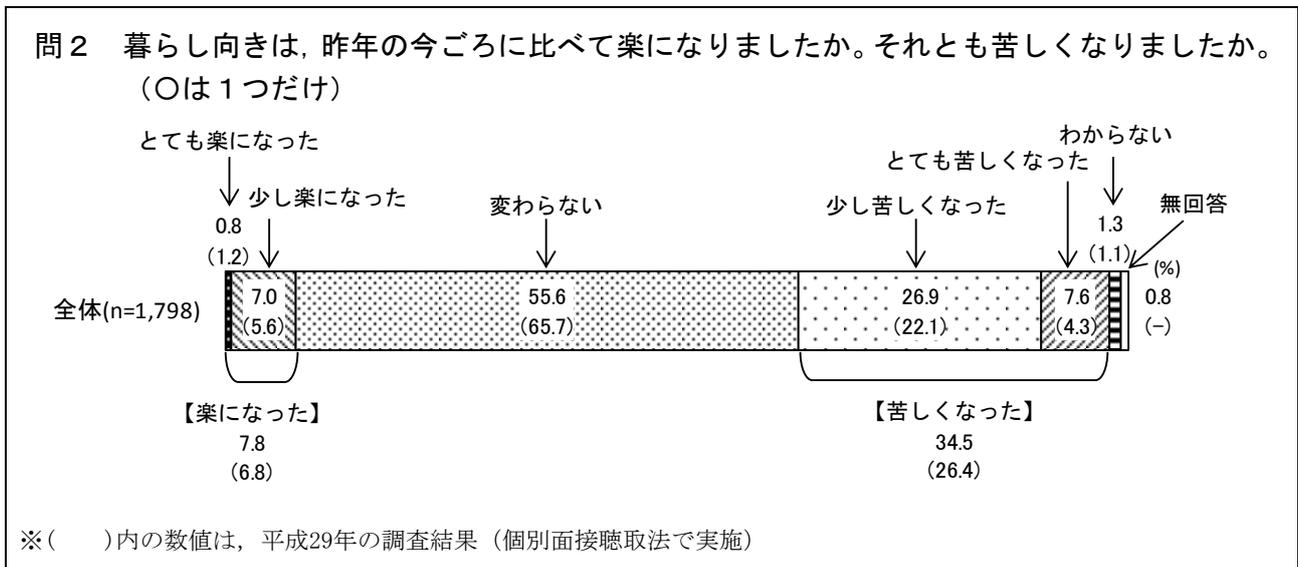
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)



2. 暮らし向きの変化

(1) 暮らし向きの変化

－「変わらない」が5割台半ば－

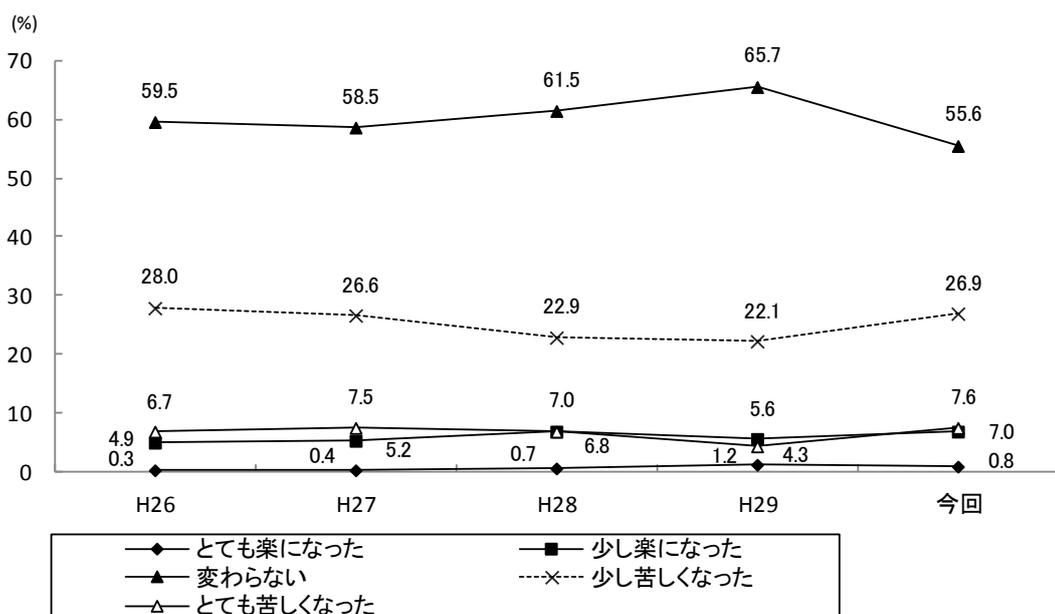


暮らし向きの変化としては、「変わらない」（55.6%）が5割台半ばとなっている。一方、「少し苦しくなった」（26.9%）と「とても苦しくなった」（7.6%）を合わせた【苦しくなった】（34.5%）は3割台半ばとなっている。

－【苦しくなった】が約8ポイント増加－

前回調査（平成29年度）と比べると，【苦しくなった】が約8ポイント増加している。

図 I 2-1 暮らし向きの変化（時系列）



ー 県央で【苦しくなった】が約4割ー

地域別でみると，【苦しくなった】は，県央（39.9%）で約4割と最も高くなっている。

ー 男女の60～64歳で【苦しくなった】が4割台半ばー

性・年齢別でみると，【苦しくなった】は，男性の60～64歳（45.5%）と女性の60～64歳（44.8%）で4割台半ばと高くなっている。

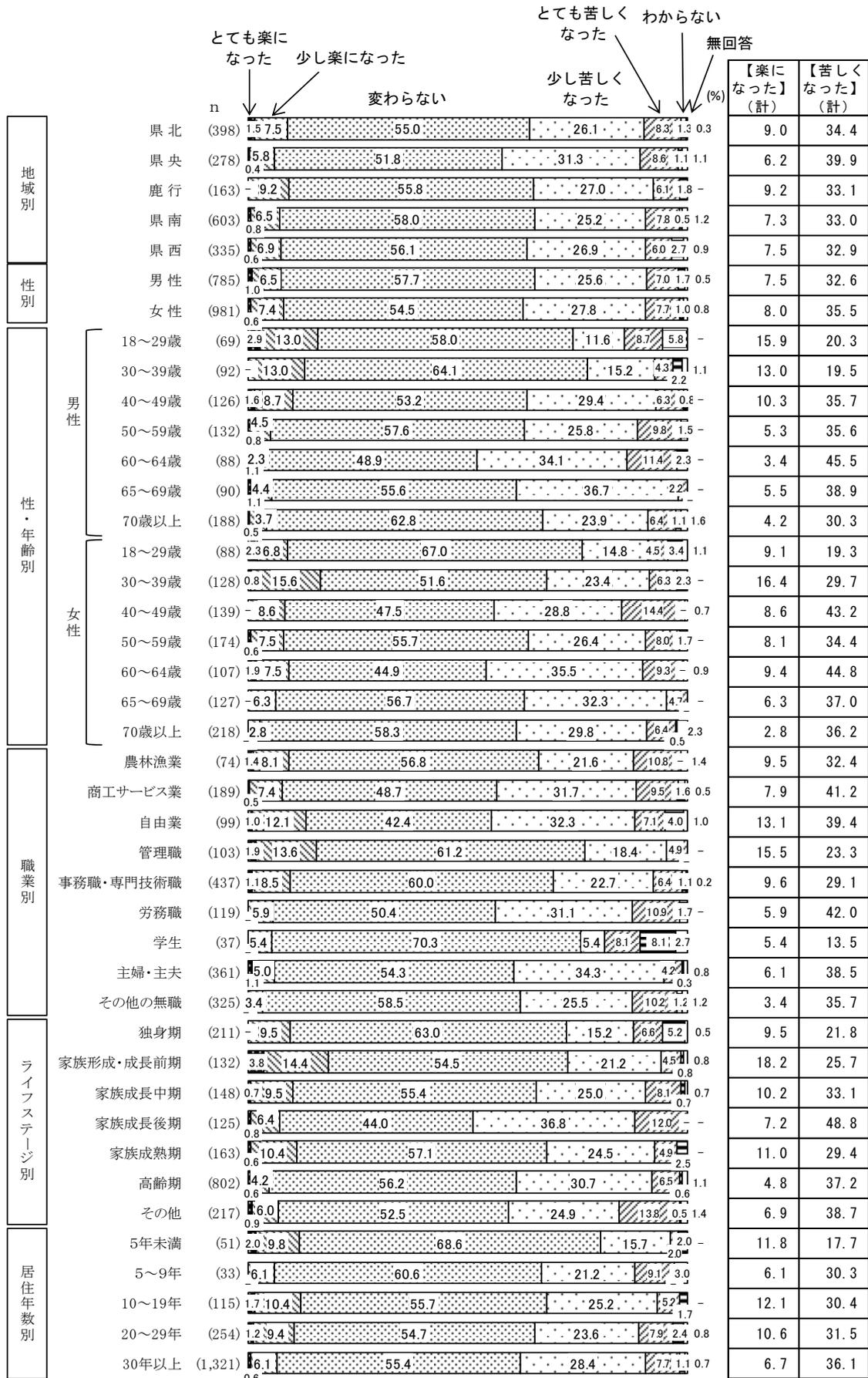
ー 管理職で【楽になった】が1割台半ばー

職業別でみると，【楽になった】は，管理職（15.5%）で1割台半ばと最も高くなっている。

ー 家族成長後期で【苦しくなった】が約5割ー

ライフステージ別でみると，【苦しくなった】は，家族成長後期（48.8%）で約5割と最も高くなっている。

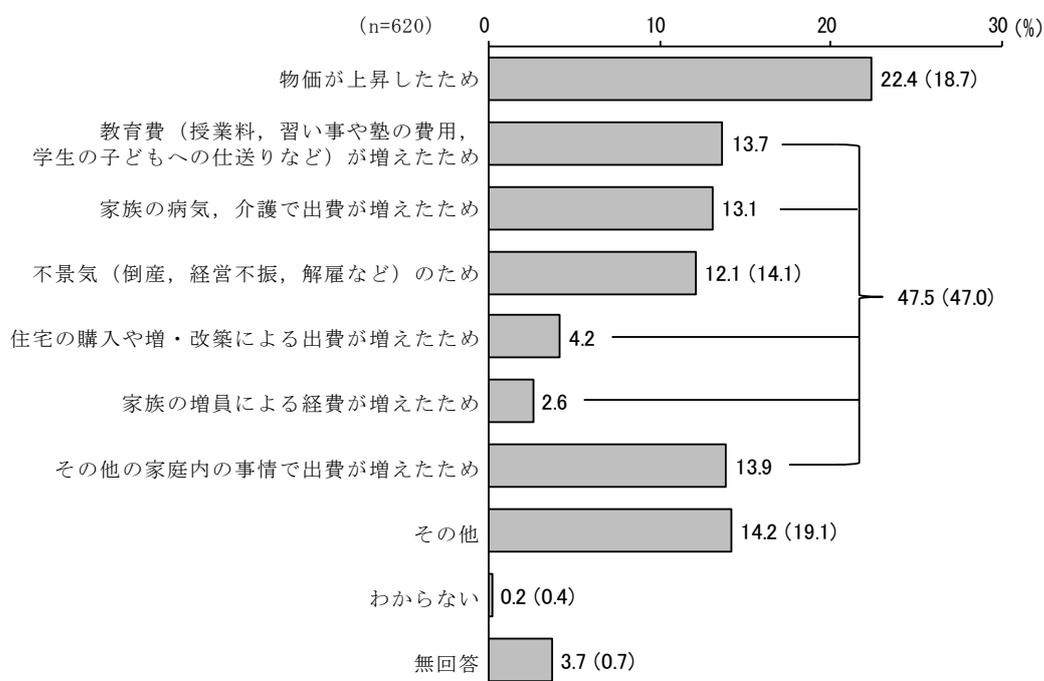
図 I 2-2 暮らし向きの変化
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)



(2) 苦しくなった理由

－「物価が上昇したため」が2割超－

(問2で「4. 少し苦しくなった」「5. とても苦しくなった」と回答した方へ)
問2-1 苦しくなったのは、主にどのようなことからですか。(〇は1つだけ)



※()内の数値は、平成29年の調査結果（個別面接聴取法で実施）

※「教育費（授業料，習い事や塾の費用，学生の子どもへの仕送りなど）が増えたため」，「家族の病気，介護で出費が増えたため」，「住宅の購入や増・改築による出費が増えたため」，「家族の増員による経費が増えたため」，「その他の家庭内の事情で出費が増えたため」は、平成29年では「家庭内の事情で出費が増えたため」

暮らし向きが【苦しくなった】と回答した方に、その理由を聞いたところ、「物価が上昇したため」(22.4%)が2割を超えて最も高く、次いで、「教育費（授業料，習い事や塾の費用，学生の子どもへの仕送りなど）が増えたため」(13.7%)と「家族の病気，介護で出費が増えたため」(13.1%)が1割台半ばで続いている。

－「物価が上昇したため」が約4ポイント増加－

前回調査（平成29年）と比べると、「物価が上昇したため」が約4ポイント増加している。

－鹿行で「家族の病気，介護で出費が増えたため」が2割超－

地域別でみると、「家族の病気，介護で出費が増えたため」は、鹿行（20.4%）で2割超と最も高くなっている。

－70歳以上で「物価が上昇したため」が約4割－

年齢別でみると、「物価が上昇したため」は、70歳以上（39.9%）で約4割と最も高くなっている。

－40代で「教育費（授業料，習い事や塾の費用，学生の子どもへの仕送りなど）が増えたため」が約4割－

年齢別でみると、「教育費（授業料，習い事や塾の費用，学生の子どもへの仕送りなど）が増えたため」は，40代（37.1%）で約4割と最も高くなっている。

－家族成長後期で「教育費（授業料，習い事や塾の費用，学生の子どもへの仕送りなど）が増えたため」が6割台半ば－

ライフステージ別でみると、「教育費（授業料，習い事や塾の費用，学生の子どもへの仕送りなど）が増えたため」は，家族成長後期（63.9%）で6割台半ばと最も高く，次いで，家族成長中期（53.1%）で5割台半ばと高くなっている。

図 I 2-1-1 苦しくなった理由
(地域別, 性別, 年齢別, 職業別, ライフステージ別)

